

施設関係者評価実施報告書

平成 31年 3月 29日

報告者氏名

田中 圭



①全体評価

今年度は、教育・保育要領を基に年齢に沿った教育、保育の充実を図り、個々の発達状況を理解し、一人一人に適した援助をすることが出来たことを高く評価する。

②学校評価の個別評価

教育課程・指導

教育課程・全体的な計画に基づいた各種指導計画の下、年齢に沿った発達に即した指導がされている。

保健管理

その時期に流行する感染症等の情報提供や健康診断の結果も保護者に伝えている。以上児の検尿の実施。

安全管理

毎月の避難訓練で、定期的に園児に指導が行われ災害への備えをする。事故防止委員会の設置し会議を行う。

組織運営

職員のバランスを配慮して計画を立てており、得意分野を生かせるようにしている。

研修(資質向上の取組)

園内・外部研修に積極的に参加し、一人ひとりの職員に応じた研修がなされている。

教育目標・自己評価

チェックリストによる総合的な自己評価とクラス毎の教育・保育の評価が正しくなされている。

情報提供

玄関での掲示板やお便り帳などで伝えている。

子育て支援

お便り帳の活用や送迎時の情報交換、必要に応じ個人面談等行い、子どもの育ちを家庭と連携をとるようにしている。

預かり保育

延長保育や一時預かりなどの保育時間外の体制も整備されている。

教育環境整備

園内全体の安全に遊べる空間の確保と教育・保育に即した環境の見直しを図っている。

③その他必要な評価

その他1

安全に楽しみながら食育活動を行えるよう配慮している。

④課題と検討

教育・保育の中でカリキュラム・マネジメント行い、教育・保育の質の向上を図り、子どもたちにはアクティブラーニングを取り入れて主体性を育む。
職員間でホウレンソウを意識するよう努める。